

環境学習プログラム 区分6 自然や生きものたちをまもる

プログラム名	自然や生きものたちを見てみよう
学習のねらい	身近な動植物に接することで、環境の大切さを体感させ、感受性ゆたかな人間を育てることを目的とする。
主な対象者	小学校3年生から中学生と父兄の15～20家族(中学生は父兄不要) (参加者は毎回ちがってもよく、1回毎に区切つての学習会も可能です。)
準備するもの	筆記用具、野外活動に適した服装、お弁当、飲み物など。 参加者を運搬する車(自家用車、小型バス、ワゴン車など)
学習のながれ	午前中はフィールドに出て、色々な生きものを見学し、午後より生き物達と環境についての学習会を行う。 (環境学習はまずフィールドより始まります。机上の学習での知識は無意味に近く、多くの環境に接し学ばねば身につきません。)
結果について考える	フィールドで体験したことを作文に書かせ、テーマを与え、学習会を行います。
興味がわいたら	山口むしの会、日本野鳥の会などを紹介し、専門家のグループと行動をとにし、見分をひろめていただく。
所要時間	期間： 5月～10月 年間2会程度 (野草、昆虫、魚、鳥) 9:00～15:00(昼食は各自持参)
学習の会場	①会議室 ②フィールド(必要に応じ決定)
プログラムをやるときに気をつけなければならない点	①フィールドでは季節や場所に適した服装をする。 ②学習会には昼食の準備が必要となります。
参考となる情報	
プログラム提供者	管 哲郎 090-7074-4922
備考	プログラム提供者に連絡先のあるものは相談に乗っていただけますが、まず、まちなか環境学習館に連絡して下さい。